



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第495号

2021年3月8日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

介護保険料の値上げが提案される

3月定例市議会に、介護保険料の改定を行うための議案が提出され、5日の福祉常任委員会で、議論が行われました。介護保険が始まって21年。本年4月から介護保険の第8期事業計画（2021年～23年）が始まります。八千代市は、第7期の介護保険料の値上げに引き続き、この第8期も第5段階の基準額で、現行の56,940円から5,220円の値上げし62,160円とする金額を提案してきました。第7期の1,980円増に比べて大幅な値上げです。

介護準備基金を活用して値上げを抑えるべき

そもそも八千代市は、第7期の値上げの際、9億5千万円の介護準備基金のうち3億2千万円を活用し、さらに基準額を1,980円値上げすることで、第8期や第9期の保険料を急激に上げる事の無いようにしてしていました。

しかし、7期の3年間では基金を活用することなく、さらに基金を10億6千万円まで積み増しすることになりました。それにもかかわらず、今回は5,220円の大幅値上げです。3年前の説明と全く違う結果となっています。

日本共産党が繰り返し、第7期の保険料を上げる必要があったのか？との質問を行うたびに、第8期、第9期に急激な値上げとにならないようにとっておきながらの値上げは納得できるものではありません。



習志野市は基金を活用して値上げせず

習志野市は、介護準備基金が10億円にも積みあがっている中で、議会からも介護給付費などの積算が的確に行われていないのではないかと指摘を受け、第8期の介護保険事業計画の策定にあたって、介護準備基金をほぼ全額を活用して、現行の介護保険料を据え置くことになりました。

その結果、第5段階の基準額で、64,570円（年間）を継続することになりました。コロナ禍のなかで、市民の暮らし・福祉をもまるために、値上げを抑えることこそ行政の役割ではないでしょうか。

行政と市議会の姿勢が問われる

コロナ禍のなかで、市民の暮らしと生業は一層深刻になっています。「福祉の増進」を掲げる八千代市の役割を今こそ発揮すべきです。10億円を超える介護準備基金を活用すれば、介護保険料を値上げしなくても十分やっています。

まさに今、行政と市議会の姿勢が問われているのです。日本共産党は、この3月議会に上程されている介護保険料の値上げを阻止するために、市民のみなさんと気持ちを一つにして頑張る決意です。（裏面に改正予定の保険料の表を掲載）